

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フレデリーしんまち		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 24日		R8年 3月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1人	(回答者数) 1人
○従業者評価実施期間	R8年 3月 2日		R8年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1人	(回答者数) 1人
○訪問先施設評価実施期間	R8年 3月 5日		R8年 3月 12日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1人	(回答者数) 1人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教具の作成や貸し出しを行い、個々に応じた支援を実施している。	・学校と事前に情報整理を行うなど、支援がスムーズに行くように工夫している。 ・必要に応じて教具を作成・貸し出し、学校で活用できるようにしている。	学校や関係機関との情報共有の機会を増やし、具体的な支援方法や様子の共有を行うことで、共通認識の形成と一貫した支援につなげていく。
2	保護者からの意見を直接聞く機会を設け、支援や業務改善につなげている。	送迎時や面談時に直接意見や困りごとを聞くようにしている。	保護者へのフィードバックを充実させ、学校と家庭と連携した支援ができるようにする。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校での様子と放デイ利用時での様子に差があり、共通認識を持つことが難しい。	・学校と放課後等デイサービスの役割、環境や集団の大きさなどが異なる為、本人の行動や様子に違いが生じている。 ・具体的な場面ごとの様子や支援方法や関わり方が、統一されていない。	学校との情報共有の機会を増やし、場面ごとの具体的な様子や対応方法について共有して支援する。
2	研修や外部との関りの機会が十分とは言えない。	業務優先となり研修時間の確保がむずかしいことや、情報共有・参加体制が十分でないことから、外部との関りが限定的となっている。	研修や外部会議への参加機会を増やし、職員の専門性向上ができるようにする。
3			